

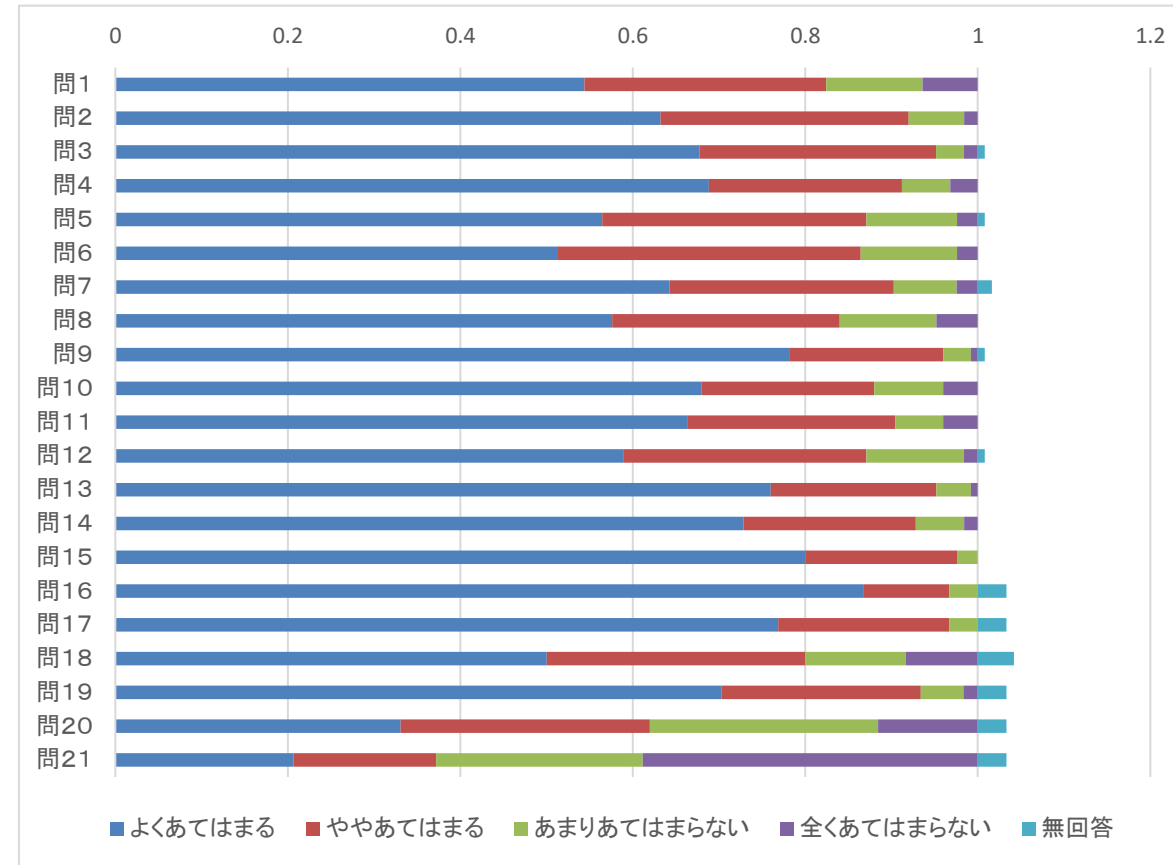
令和4年度 学校教育自己診断アンケート結果と分析について

1. 設問内容

設問のうち上位2区分の合計数値が前年度と比較をして5%以上増減のあったものに↑・↓を記している。

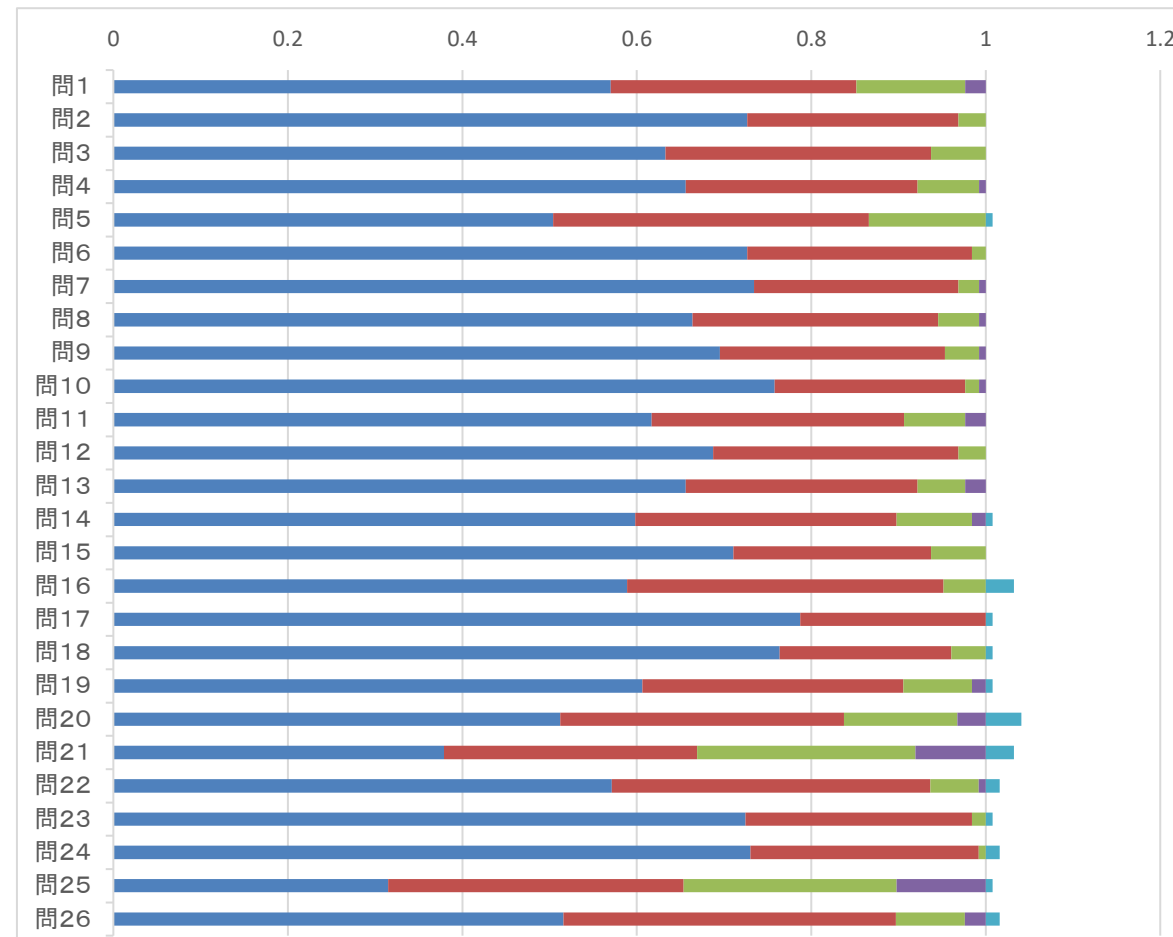
【本校 生徒】

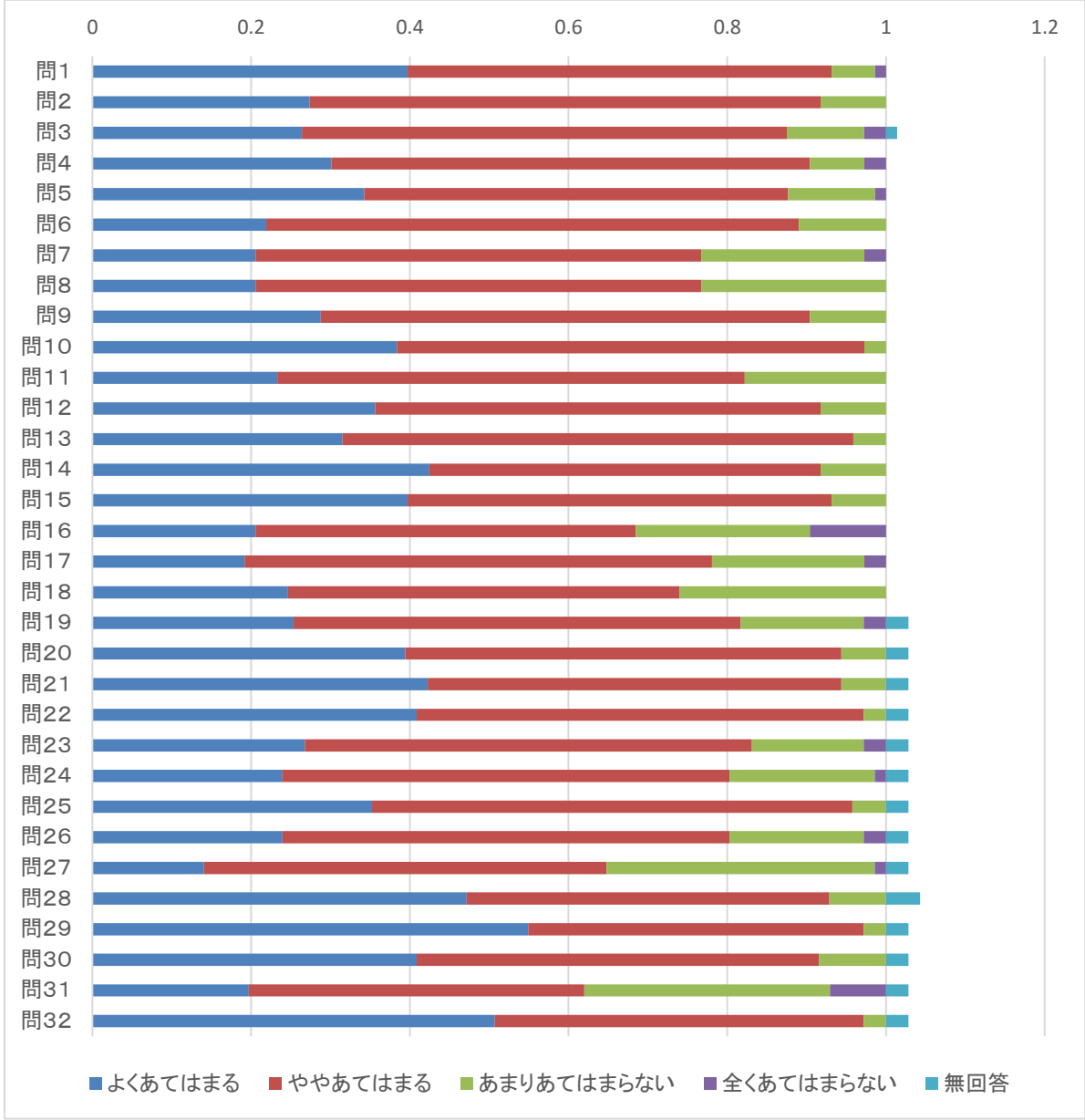
- 問1 学校へ行くのが楽しい(82)
- 問2 先生はわたしたちの言うことをよく聞いてくれる(92)
- 問3 先生は授業を工夫して、よくわかるように教えてくれる(95)
- 問4 先生はわたしたち一人ひとりのことや障がいのことをわかってきている(91)
- 問5 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある(87)
- 問6 授業でわからないことは、先生にききやすい(86)
- 問7 先生は、私たちが頑張っていることや困っていることを取り上げてくれる(90)
- 問8 先生は約束を守ってくれるし、なんでも相談できる(84)
- 問9 卒業後の進路、仕事について考える授業がある(96)
- 問10 たまがわフェスティバルやバックツアー・宿泊行事など学校行事は楽しい(88)
- 問11 委員会活動や部活動に積極的に参加している(90)
- 問12 授業でゆたかな心や人の生き方について考えることがある(87)
- 問13 いのちの大切さや社会のきまりについて学習することがある(95)
- 問14 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる(93)
- 問15 先生は、学校で体罰がないように、気をつけている(98)
- 問16 地震や火事などがおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている(97)
- 問17 教室や特別教室・体育館などは授業や生活がしやすいようにとどっている(97)
- 問18 担任の先生以外にも、保健室や生徒会室で気軽に相談することができる先生がいる(80) ↑
- 問19 学校は1人1台端末(I Pad)を効果的に活用している(93)
- 問20 授業や行事で近くの学校や近所の人と交流することがある(62) ↑
- 問21 学校のホームページを見ることある(37)



【本校 保護者】

- 問1 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている(85)
- 問2 学校は、進路や職業について適切な指導を行っている(97)
- 問3 学校は保護者のニーズを踏まえて、特色のある教育活動に取り組んでいる(94)
- 問4 教職員は、子どもの障がいについて理解している(92)
- 問5 子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている(87)
- 問6 学習の内容・学校生活の様子を懇談や学年だより、連絡帳などによって、知ることができる(98)
- 問7 教職員は、子どもの学習状況や努力を適切・公平に評価している(97)
- 問8 教職員は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる(95)
- 問9 保護者は、子どもの心身の健康や障がいの状況について、気軽に学校に相談できる(95)
- 問10 たまがわフェスティバルやバックツアー・宿泊行事や修学旅行などの学校行事は、参加しやすいように工夫されている(98)
- 問11 子どもは、積極的に委員会活動や部活動に参加している(91)
- 問12 学校は、生命を大切にすることや、社会のルールを守るための指導を行っている(97)
- 問13 教職員は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重した指導を行っている(92)
- 問14 学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている(90)
- 問15 学校からは、地震や台風などの場合の対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている(94)
- 問16 学校は、施設・設備の点検、事故防止に配慮している(95)
- 問17 学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている(100)
- 問18 学校では、子どもに関するプライバシーが守られている(96)
- 問19 学校は、文書や学校ホームページを用いて、教育情報について、提供の努力をしている(91)
- 問20 学校は、保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を持っている(84) ↓
- 問21 学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている(67) ↑
- 問22 学校ではPTA活動が活発に行われている(94)
- 問23 個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている(98)
- 問24 個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている(99)
- 問25 学校のホームページを見ることある(65)
- 問26 学校は1人1台端末(i Pad)を効果的に活用している(90)





【教職員】

- 問1 学校の教育について、教職員で日常的に話し合っている(93)↑
- 問2 教育課程の編成に当たって学習指導要領の趣旨が生かされている(92)↑
- 問3 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている(88)
- 問4 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いによく応えている(90)
- 問5 指導内容については、生徒の実態に合うように、教職員間で話し合いがもたれている(88)↑
- 問6 学習形態の工夫・改善・評価の在り方について話し合う機会がある(89)↑
- 問7 自立活動指導に当たっては、生徒が興味をもって主体的に取り組めるよう工夫している(77)
- 問8 この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている(77)
- 問9 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる(90)
- 問10 生活指導において、家庭や関係機関との連携ができています(97)
- 問11 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている(82)↑
- 問12 教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している(92)
- 問13 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている(96)↑
- 問14 生徒一人ひとりの人権を尊重し、体罰やセクシュアル・ハラスメントを防止し、日常の教育活動を行っている(92)
- 問15 学校の諸活動において安全指導が徹底している(93)↑
- 問16 学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されており、教職員の意見が反映されている(68)
- 問17 各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、会議の内容も学校運営に反映されている(78)
- 問18 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています(74)
- 問19 この職場においては教職員の服務規律への自覚が高い(82)↓
- 問20 事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている(94)
- 問21 施設・設備について日常的に点検や管理が行われている(94)
- 問22 コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている(97)↑
- 問23 校内研修等を通して、初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている(83)↑
- 問24 教員の間で授業方法等について検討する機会を持っている(80)
- 問25 個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している(96)
- 問26 教育活動に必要な情報について、文書や学校ホームページ、生徒・保護者や地域への周知に努めている(80)↓
- 問27 教職員はPTA活動に参加している(65)↑
- 問28 個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成している(93)
- 問29 個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成し、保護者に開示し説明している(97)
- 問30 個別の指導計画ならびに個別の教育支援計画と教育課程、通知等との関連を明確化している(92)
- 問31 ライフワークバランスはとれている(62)
- 問32 いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができています(97)

2. 本校のアンケート概要・設問数・回答数・回答率

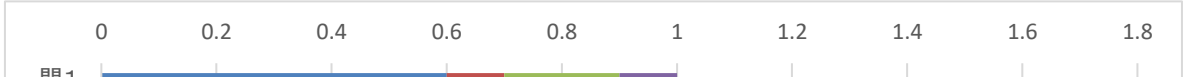
	設問数	対象数		回答数		回答率	
		R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度
生徒	21	179	181	125	121	70%	67%
保護者	26	179	181	128	122	72%	67%
教員	32	74	74	73	74	99%	100%

- ① アンケート対象 本校生徒・保護者・教職員
- ② アンケート期間 令和4年11月29日(火)～12月9日(金)
- ③ アンケート方式 持ち帰り自宅記入、無記名
- ④ 一人一台端末についての設問を追加

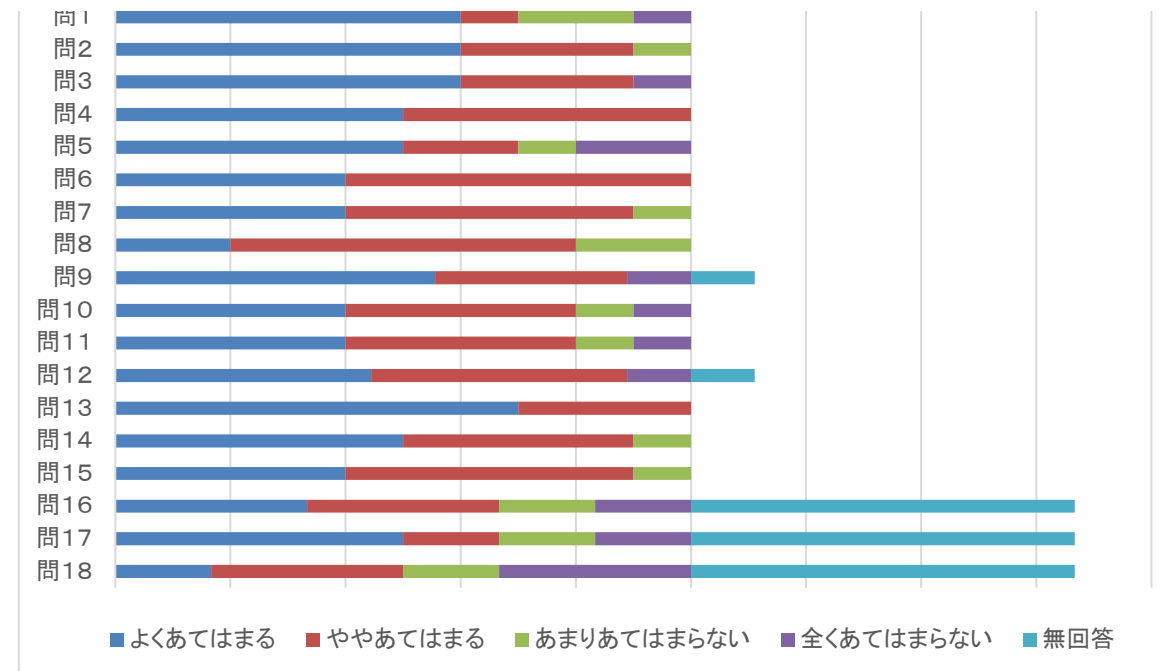
3. 【参考】 共生推進教室 設問内容

【共生推進教室 生徒】

- 問1 たまがわ高等支援学校へ行くのが楽しい(70)↓
- 問2 先生は、わたしたちの言うことをよく聞いてくれる(90)

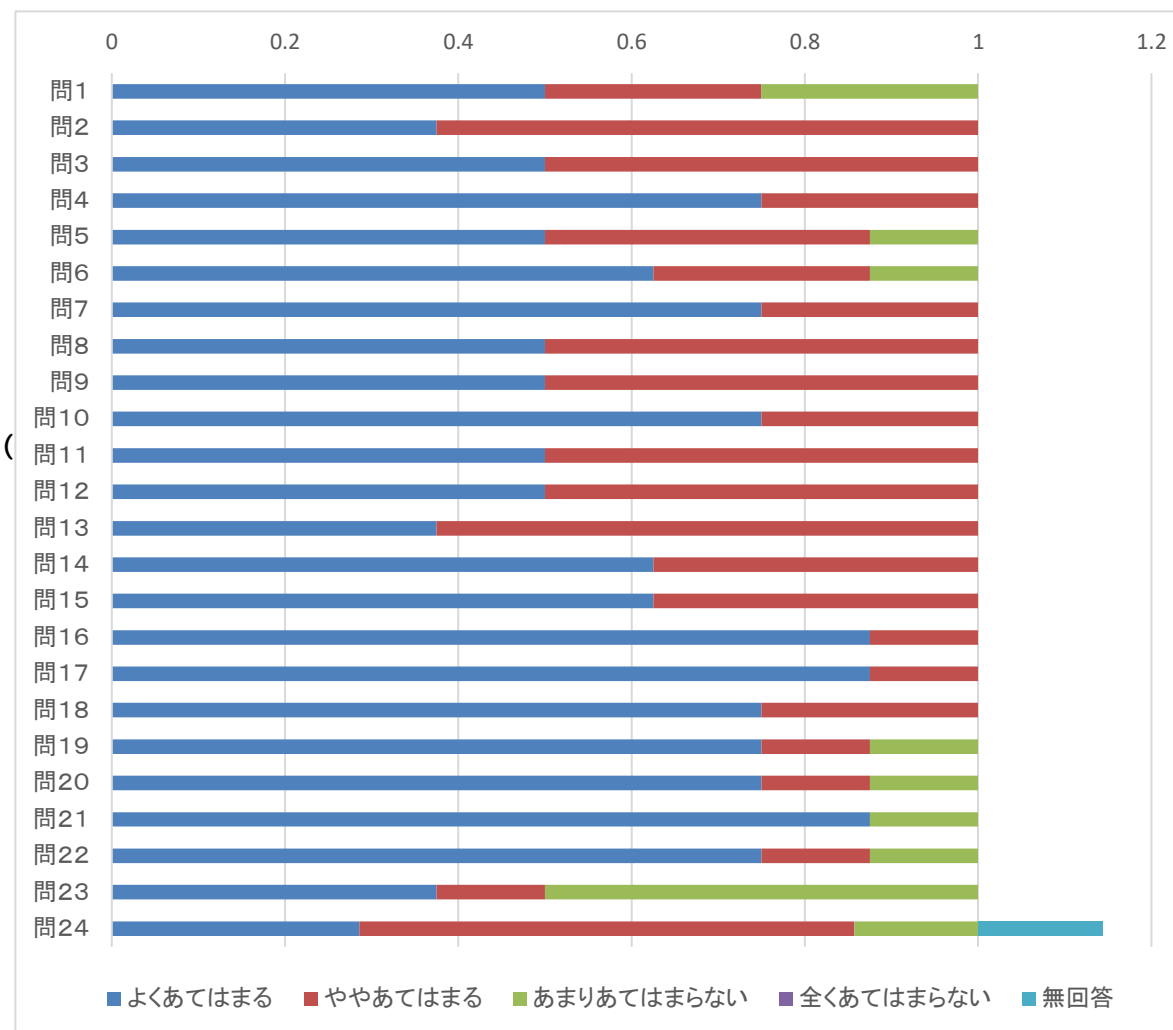


- 問3 先生は、授業を工夫して、よくわかるように教えてくれる(90) ↓
- 問4 先生は、わたしたち一人ひとりのことや障がいのことをわかってきている(100)
- 問5 授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある(70) ↓
- 問6 授業でわからないことは、先生にききやすい(100)
- 問7 先生は、私たちが頑張っていることや困っていることを取り上げてくれる(90) ↓
- 問8 先生は約束を守ってくれるし、なんでも相談できる(80) ↓
- 問9 卒業後の進路、仕事について考える授業がある(89)
- 問10 授業でゆたかな心や人の生き方について考えることがある(80)
- 問11 いのちの大切さや社会のきまりについて学習することがある(80)
- 問12 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる(89) ↑
- 問13 先生は、学校で体罰がないように、気をつけている(100)
- 問14 地震や火事などがおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている(90) ↑
- 問15 教室や特別教室・体育館などは授業や生活がしやすいようにととのっている(90)
- 問16 学校は1人1台端末を効果的に活用している(67) ↑
- 問17 設置校の先生だけでなく、たまがわ高等支援学校本校の先生にも、気軽に相談できる先生がいる(67) ↓
- 問18 たまがわ高等支援学校のホームページを見ることがある(50) ↑



【参考 共生推進教室 保護者】

- 問1 子どもはたまがわ高等支援学校へ行くのを楽しみにしている(75) ↓
- 問2 たまがわ高等支援学校は、進路や職業について適切な指導を行っている(100)
- 問3 たまがわ高等支援学校は保護者のニーズを踏まえて、特色のある教育活動に取り組んでいる(100)
- 問4 教職員は、子どもの障がいについて理解している(100)
- 問5 子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている(88)
- 問6 学習の内容・学校生活の様子を懇談や学年だより、連絡帳などによって、知ることができる(88)
- 問7 教職員は、子どもの学習状況や努力を適切・公平に評価している(100)
- 問8 教職員は、いじめのない学習集団づくりに取り組んでいる(100)
- 問9 たまがわ高等支援学校は、子どもの心身の健康や障がいの状況について、気軽に学校に相談できる(100)
- 問10 子どもは、積極的に授業等に参加している(100) ↑
- 問11 たまがわ高等支援学校は、子どもの発達段階や実態に応じて生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている(100) ↑
- 問12 教職員は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている(100) ↑
- 問13 たまがわ高等支援学校は、学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている(100)
- 問14 たまがわ高等支援学校からは、地震や台風などの場合の対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている(100)
- 問15 たまがわ高等支援学校は、施設・設備の点検、事故防止に配慮している(100)
- 問16 たまがわ高等支援学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている(100)
- 問17 たまがわ高等支援学校では、子どもに関するプライバシーが守られている(100)
- 問18 たまがわ高等支援学校は、文書や学校ホームページを用いて、教育情報について、提供の努力をしている(100) ↑
- 問19 たまがわ高等支援学校は、保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を持っている(88)
- 問20 たまがわ高等支援学校は、子どもが他の学校の子ともたちと交流する機会を設けている(88) ↓
- 問21 個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている(88) ↓
- 問22 個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている(88) ↓
- 問23 たまがわ高等支援学校のホームページを見ることがある(50) ↓
- 問24 学校は1人1台端末を効果的に活用している(86)



4. 共生推進教室のアンケート概要:設問数・回答数・回答率

	設問数	対象数		回答数		回答率	
		R4年度	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度	R3年度
生徒	18	17	17	10	14	59%	82%
保護者	24	17	17	8	14	47%	94%

① アンケート対象 共生推進教室生徒・保護者

② 期間・方法は本校と同じ

③ 一人一台端末についての設問を追加

5. 分析

回答率は、生徒は3ポイント、保護者は5ポイント前年度より増加、教職員はほぼ全員回収した。アンケートの提出と学校教育への関心とは必ずしもイコールではないが、次年度以降も教職員は全員回収をめざし、生徒・保護者についても本校の学校教育全般により関心を持っていただくためにもできるだけ多く回答していただけよう周知する必要があると考える。

【本校 生徒】

各質問項目に対し、回答が上位2区分を選択している割合は概ね80%~90%以上で、全ての項目で前年度と同じか、より上回っていた。特に、担任の先生以外にも気軽に相談できる先生がいる、という項目で大きく前年度を上回った。SSWや臨床心理士相談など、外部機関との連携が進み、生徒自身の相談機会が増えていることが要因と考える。また、交流についての項目でも前年度より5ポイント上回っている。この数年、外部との交流が難しい状況が続いてきたが、少しずつ改善されていることがポイント増につながっていると考える。

【本校 保護者】

回答は概ね90%以上が上位2区分を選択している。生徒と同様に、交流についての項目が前年度より9ポイント上回っており、やはり状況が改善され様々な活動ができるようになってきていると感じる。一方、保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を持っている、という項目では前年度を下回っていた。学校での様子を知ることができる、参観する機会がある、などの項目では100%近くが肯定的な回答になっているので、さらに保護者のニーズを聞く機会としても大切にしていきたい。

【共生】

今年度は回答率が生徒、保護者ともに前年度よりかなり低かった(2校の回答率が大きく違った)こともあり、一般的な分析は難しく、回答率についてはしっかりと分析と今後の工夫が必要と考える。

【教職員】

ほとんどの項目で前年度より肯定的な意見が増加した。特にコンピュータ等のICT機器の活用についての項目では前年度を大きく上回り、授業等での活用が進んでいると考える。また、PTA活動も少しずつ状況が改善してきているため、教員の参加も実感できる場面が増えたのではないかと。一方、教職員の服務規律への自覚についての項目についてはポイントを下げている。この機会にもう一度服務規律の順守についてしっかりと確認していきたい。